

令和 5年 4月 28日
横浜市立笹野台小学校



笹小だより 5月号



笹野台の子どもたちに必要な力をつけていくために・・・

校長 佐々木 和美

風薫る5月。初夏の若葉の中を爽やかに風が吹きぬけていきます。校舎裏門近くにある花壇に、地域の方が育ててくださっている薔薇が美しく咲いています。

地域の方のお話だと、薔薇の開花時期が年々早くなっているとのことでした。気温が高くなればなるほど、蕾がすぐに出てくるようになる、気温と開花の時期には強い相関関係があるようです。



さて、4月19日(木)に「1年生を迎える会」を行いました。4月にしては暑い日でしたが、気持ちのよい風が吹く中、全校児童が校庭



に集いました。「1年生を迎える会」はハッピースマイル委員会の子どもたちが中心に運営を行いました。それぞれの学年みんなで1年生を温かく迎えることができました。1年生には、学校の一員であるという思いをもち、2～6年生と一緒に仲良く生活しようとする気持ちをもてるように、また2～6年生は、それぞれの学年に応じて、1年生のことを考えた行動がとれるようにというねらいがあります。例えば

笹野台小学校の一員であるという所属意識が芽生えることにより、1年生は困ったことがあったときは、問題解決のための助けを学校にいるだれにでも安心して求めることができるようになります。学級担任だけでなく、教職員や近くにいる上級生、同じ1年生の友達など、時と場、支援してほしい内容に応じて、適切な人に相談することができれば、学校生活はより充実した楽しいものになるでしょう。また自分の力で解決できないことを周囲に相談し、よい方法をさがせるというのは、子どもたちにとって有益なスキルとなります。また6年生においては、登校班や掃除、休み時間等において1年生の様子をよく見ており、最高学年として1年生の表情や動き、場の雰囲気から判断して、ふさわしい言葉かけや行動がとれていると感じます。「1年生を迎える会」をきっかけに笹野台小学校の顔である6年生を範とし、各学年の子どもたちが本校で一緒に生活する友達の気持ちを考え互いに優しくしたり、穏やかだけれども自分の意見はしっかりと伝え合ったりできるコミュニケーション力もつけていくようにという願いも込めています。

各教科等において1時間ごとの授業のねらいがあるように、全ての活動や行事においてもねらいや目指す子どもの姿があります。ご家庭や地域の皆様方におかれましても、それぞれのお立場や考えでお子様に良かれと思う教育を施されていると思います。今後も子どもたちだけでなく私もコミュニケーション力を発揮し、子どもたちがよりよい変容と成長ができるよう家庭、地域、学校の3者で手を携え支えていけるよう願っております。どうぞよろしくお願いいたします。